

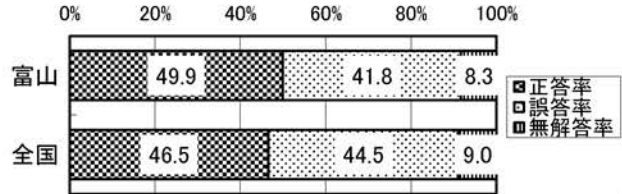
4 中学校「国語」

(1) 問題番号2三 <正答率が低く、無答率が高い問題>

学習指導要領における内容：1学年 (2)情報の扱い方に関する事項イ B書くことウ
 評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。

- 正答率は49.9%で、全国平均よりも3.4ポイント高いが、全問題中、2番目に低い。無解答率も全問中、3番目に高い。
- 誤答については、「引用する部分をかきかっこでくくる」ことがされていない解答が37.5%（全国40.2%）である。



2 小林さんは、国語の時間に、「先端技術との関わり方」というテーマで意見文を書いています。次は、文書作成ソフトを使って小林さんが書いた【意見文の下書き】と友達が書いた【コメントの一部】、小林さんがコメントを受けて集めた【農林水産省のウェブページにある資料の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利が増えたと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父に、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父は、今更に入ってからロボットトラクターを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取りのぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよろこんでいる祖父に、他に取入れているものはないか聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取入っていない」とのことだった。スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。しかし、祖父は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私たちも意識しなければいけないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していくだろう。私も祖父のように、目的に応じて選択し

【コメントの一部】

上野
他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないだろうか。

中村

私も同意です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

三 小林さんは、上野さんと中村さんからの「コメントの一語」を踏まえて、 で囲まれた「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ」とのすぐあとに、「スマート農業の効果を書き加えること」にしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2に基づいて書きなさい。

条件1 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かきかっこでくくること。『J-PARC』に続けて書くこと。

条件2 「例えば」に続けて書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

スマート農業について

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。
 →「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0の実現」
◎Society5.0：国が掲げる、デジタルが駆動する、リアルとバーチャルが融合した未来社会の姿

スマート農業の効果

- 1 作業の自動化
ロボットトラクター、スマホで操作する水肥管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- 2 情報共有の簡易化
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- 3 データの活用
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

(農林水産省ウェブページより)

正答例
 (例えば、) 農林水産省のウェブページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。

学習指導上の留意点

○ 考えの根拠が明確になるように情報を引用して書くことができるようにする

意見文を書く際には、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にすることが大切である。そのためには、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認し、その根拠を文章の中に記述する必要があることを理解して書くことが重要である。根拠を記述するにあたっては、複数の事例や専門的な立場からの知見を引用すること等が考えられる。

指導のポイント

- 資料から必要な部分を引用して自分の考えを伝える文章を書き、互いに読み合うことで、自分の考えの根拠を明確にするために必要な情報を取り上げているか確かめる学習場面を設定する。
- 考えの根拠が明確になるように資料から情報を引用して書く際には、資料中の言葉は省略したり書きかえたりすることなく、かきかっこでくくって書くことや、引用した箇所が前後の内容と適切につながっているかを確認すること等、引用の仕方について理解を深められるような学習場面を設定する。

(2) 問題番号 1三 <無解答率が高い問題>

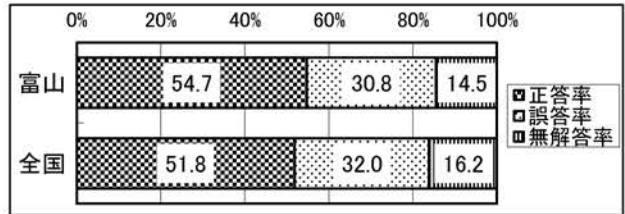
学習指導要領における内容：1 学年 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 A

話すこと・聞くことウ

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる。

- 正答率は 54.7% で、全国平均よりも 2.9 ポイント高いが、無解答率は 14.5% (全国 16.2%) で、全問題中、最も高い。
- 誤答については、①どの部分を、②どのように工夫するか、③なぜその工夫をするかのいずれか一つが抜けている解答が 17.5% (全国 18.1%) である。



正答例 私は、自分が一番伝えたいことに着目してもらうために、「この言葉を聞いてはっとしました。」のあとに少し間を取ります。

三 「二人の会話の一部」に「確認③」他の部分も話し方を工夫してみます。とありますが、あなたならどの部分をどのように工夫して話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。
 なお、読み直して文章を直したいときは、「本機で消したり行間を開き直したりしてもかまいません。」
 条件1 「川口さんのスピーチ」のどの部分をどのように工夫して話すのかについて、言葉の抑揚や強調、間の取り方などに着目して具体的に書くこと。
 条件2 条件1のように話す意図を書くこと。

1 川口さんは、国語の時間に、最近気になったことについてスピーチをする学習に取り組んでいます。川口さんは、動画に自分のスピーチを記録し、それを田中さんに見せて助言をもらっています。次の「川口さんのスピーチ」と「二人の会話の一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【川口さんのスピーチ】

最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます。その変化は、学校での学習にも表れていると思います。例えば、授業でインターネットを活用する機会が増えました。特に、オンラインで離れた場所にいる人と会話することもできて、その便利さを実感しています。一方で、相手と直接会っていないので、やりとりをスムーズに行っていくという面もあるのではないかと思います。

先日、総合的な学習の時間で、離れた場所にいる施設の方にはオンラインでインタビューをしたことがあります。私は、画面を通してやりとりをしているという状況に気を取られて、相手に必要最小限のことを伝えるだけで精一杯になってしまいました。そのため、相手の反応を踏まえたやりとりをすることができていないと感じました。後日、そのことを友達に話したところ、「私は、相手の言ったことに対して相づちを打つときに気を付けていました。」と話してくれました。

【二人の会話の一部】

田中：川口さんが伝えたい内容が分かりました。ただ、スピーチの冒頭から同じ調子で話しているため、言葉の抑揚や強調、間の取り方などの話の工夫が足りていないように感じます。例えば、「オンラインで離れた場所にいる人と会話すること」という部分は、伝えたい内容に関係することなので、聞き手に関心をもってもらうために、ゆっくり大きな声で話すようにしたいです。

川口：ありがとうございます。確かにそうですね。

田中：「この言葉を聞いてはっとしました。」のあとに少し間を取ると、聞き手に印象に残ります。

川口：そうですね。ありがとうございます。

学習指導上の留意点

- 音声の働きや仕組みを意識しながら表現を工夫して話すことができるようにする
 自分の考えが分かりやすく伝わるように話すためには、聞き手に応じた語句を選択したり、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、言葉遣い等に注意したりするなどして、表現を工夫できるようにすることが大切である。

指導のポイント

- ICT機器を活用して、スピーチの様子を動画で記録し、聞き手の興味・関心、情報量等を考慮しながら話す内容や話し方を検討したり、表現を工夫した意図を明確にして、工夫したことの効果を確かめたりする。
- アクセント、イントネーション、プロミネンス等の音声的特質が多様な声を作り出し、話したり聞いたりすることに影響していることが認識できるように、実際に声に出して試しながら工夫を考えたり、効果を確かめたりする場面を設定する。